

システムティック・ アクティブ 債券運用 (SAFI)

SAFI投資プロセス・ガイドブック

SAFI:現代的な債券投資 アプローチ

SAFI(本戦略)は、ルールおよびデータに基づく定量的アプローチによりアルファの創出を図ります。本戦略は、ファクタースコアという定量シグナルを用いて銘柄選択を行うと同時に、運用目標であるベンチマークの構造的なリスクとの整合性を維持することを目指します。したがって、本戦略では主に銘柄選択を通じてアルファの創出を図ります。このアプローチは、銘柄選択の意思決定における高い一貫性を保証するだけでなく、迅速かつ大規模に行います。具体的には、数千の証券を同時に評価し、アルファ創出の可能性を特定し活用します。さらに、気候変動などのサステナビリティ要因を銘柄選択の判断に統合できるため、SAFIは魅力的なアルファ創出の可能性を提供しつつ、クライアント固有のサステナブル投資に対する選好や目標に沿うことが可能となっています。

当社のシステムティックなファクターベースのアプローチは、投資適格債からハイイールド債まで、クレジット市場全体にわたる投資機会の特定に活用されてきました。本アプローチでは、今日のクレジット市場において、電子取引の進歩によって大幅に改善されたの価格の透明性と更新頻度を活用しています。システムティックアプローチは定量的かつルールに基づいて行われるので、極めて定性的なファンダメンタルズ分析に基づく大半の既存のアクティブ型債券戦略とは異なります。こうしたアプローチの違いは、差別化されたリターンの創出という形で大幅に異なる成果を生み出しており、これがシステムティック戦略の主要な魅力の一つとなっています。潜在的に創出されるアルファの水準だけでなく、その生成方法こそが、運用会社の分散による魅力的な効果を投資家にもたらすことを示しています。

ファクターリサーチの質はあらゆる定量的アプローチを支える重要な要素です。そのため、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは、債券分野ではおそらく最も経験豊富で評価の高いクオンツ戦略チームのひとつであるBarclays Quantitative Portfolio Strategy (バークレイズQPS)と提携しています。バークレイズQPSはカスタマイズされたシステムティックな戦略指標を基にファクタースコアを日次で提供しており、当社はそのスコアを精緻なポートフォリオ構築および効率的な運用に関する当社の専門知識と組み合わせて活用しています。これにより、当社は魅力的であると同時に差別化されたリターンを創出するように構築されたポートフォリオを通じて、この確固たる理論を実践に移すことができる比類のない組み合わせを実現したと考えています。バークレイズQPSとの提携

(参考:バークレイズ QPSの紹介)を通じて、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは自社の強固なポートフォリオ管理および運用に関する専門知識とQPSの高度なファクターリサーチを組み合わせ、包括的なシステムティック・アクティブ戦略を提供しています。

図表1: 広範囲にわたる当社SAFI戦略

SAFI戦略	ベンチマーク指数
米国投資適格中期社債	Bloomberg US Intermediate Corporate ex-Baa
米国投資適格長期社債	Bloomberg US Long Corporate Bond A+
米国投資適格社債	Bloomberg US Corporate Bond
米国長期社債	Bloomberg US Long Corporate Bond
欧州投資適格社債	Bloomberg Euro Aggregate Corporate
欧州投資適格社債 気候変動	Bloomberg Euro Aggregate Corporate
米国投資適格社債 気候変動	Bloomberg US Corporate Bond
グローバル投資適格社債	Bloomberg Global Investment Grade Bond
グローバル投資適格社債 気候変動	Bloomberg Global Investment Grade Bond
米国ハイイールド社債	Bloomberg US High Yield Corporate Bond
米国ハイイールド社債 BB-B格	Bloomberg US High Yield BB-B Corporate Bond
グローバル・ハイイールド社債	Bloomberg Global High Yield Corporate Bond
エンハンスト米国コア	Bloomberg US Aggregate Bond
リサーチ・パイプライン	
米国社債 フォーリン・エンジェル	—

出所:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、2024年12月31日現在

戦略の基盤

SAFIの投資プロセスとアルファ創出を支える3つの重要なシグナル(ファクター)。

SAFIは、有益なシグナルをシステムティックに適用し、ミスプライシングされている債券を特定して、標準的なベンチマークを安定的かつ偏りなく、構造的にアウトパフォームするポートフォリオを構築することを目指しています。各シグナルの詳細については「システムティック・アクティブ債券シグナルの概要」をご参照ください。各シグナルに関する詳しいインサイト(洞察)が記されています。

図表2: 債券がアウトパフォームする機会は定量シグナルで特定が可能

特定されたシグナル	目的	経済的根拠
バリュー ピアグループに対する超過スプレッド＝ESP	過小評価されているリスクの特定	このシグナルは、業界、格付け、満期などの構造的およびファンダメンタルズ面の要因を調整した後、ピアグループ*と比較して割安な債券を特定することを目的としています。幅広い証券を分析することで、相対バリューシグナルはミスプライシングされている債券を特定します。基本的にESPは過小評価されているリスクの特定に役立ちます。
モメンタム クレジットにおける株式のモメンタム＝EMC	株式市場が示す強いセンチメントを持つ魅力的な銘柄を特定し、バリュートラップを回避	モメンタムは発行体の株価のトレンドに焦点を当てます。株価に強いモメンタムがある発行体の債券はアウトパフォームが期待され、スコアが高くなります。株式と債券価格の先行・遅行関係は研究で確認されており、EMCは債券の将来のパフォーマンスを示唆する有益な先行指標となります。重要なのは、株価のモメンタムとバリューシグナルを組み合わせることにより、債券価格が経済的な理由からピアグループ比で割安となるとときに発生するバリュートラップに陥るリスクが軽減され、投資の精度が向上することです。
センチメント エクイティ・ショート・インタレスト (ESI)	高度な金融知識を持つ特定投資家による積極的な空売り対象となっている高リスク発行体を除外	株式の空売り比率が高い発行体を特定するためのシグナルです。ヘッジファンドなど高度な金融知識を持つ投資家は、株式に大きな空売りポジションを取ることによって、当該企業に対してネガティブな見解を示します。したがって、空売り比率が高い企業にはダウンサイドリスクがあり、債券ポートフォリオから除外するのが最善の選択です。このセンチメント指標を使用し、投資家が積極的に空売りしている発行体を除外しています。

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、パークレイズ QPS、2025年3月20日現在。

*セクター、格付け、満期などのグループ分類によりシステムティックリスクを管理

投資プロセスの各ステップ

本戦略ではシステマティックなアルゴリズムに基づくアプローチを採用し、投資対象となり得るすべての債券を各ファクターへのエクスポージャーに基づいて評価します。効率的かつ実用的な方法で、これらのファクターへのエクスポージャーを最大化することを目指します。

1. シグナルの生成

バリュー、モメンタム、センチメントの3つのファクターに関するシグナルは、ベンチマークの各債券について、パークレイズQPSによりカスタマイズされたシステマティック戦略指標を通じて毎日提供されます。投資対象となり得るすべての債券には、各ファクターのスコアと総合スコアの計4つのスコアが債券ごとに付与されます(図表2を参照)。¹

各シグナルのパフォーマンスに対する寄与度は、その特性や動きの違いにより、時間とともに変化します。「通常」の市場環境ではバリューシグナルがアクティブリスクの主な要因となる一方で、モメンタムシグナルは(ボラティリティが高まった期間におけるリスクとアルファの両方において)重要な補完的役割を果たします。これに対し、主に空売り比率の高い発行体のスクリーニングに使用されるセンチメント(ESI)シグナルは、バリューやモメンタムと比較して、ポートフォリオ全体のパフォーマンスへの寄与度は相対的に小さくなります。これは、社債指数に含まれる銘柄のうち、株式投資家によって複数の銘柄が同時に積極的に空売りされるケースはほとんどないためです。これらの発行体を除外することは下落リスクを抑える上で効果的です。

2. ポートフォリオの構築

当社のルールに基づくポートフォリオ構築は、以下の3つの主要原則に基づいています:

- ポートフォリオの各ファクターに対するエクスポージャーの最適化
- ベンチマーク指数に対して意図しないリスクの抑制
- 効率的な取引執行

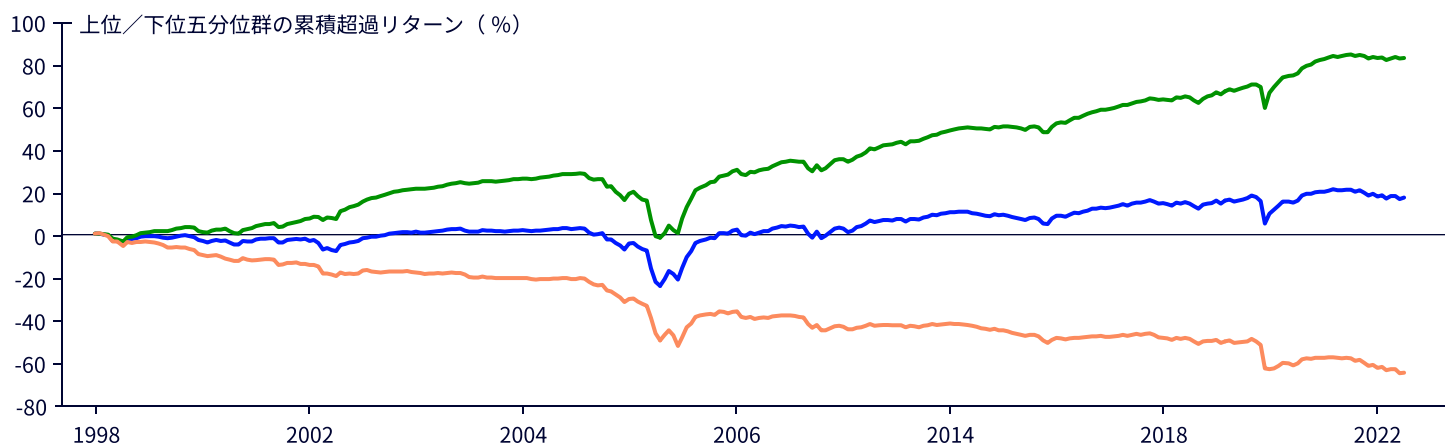
債券はファクタースコアへのエクスポージャーに基づいて選択され、ポートフォリオは、低コストの取引により効率的な運用を確保しつつ、リスク上の制約に対して潜在的なリターンバランスが取れるように最適化されます。指数構成銘柄のうち流動性が低い債券は、出来高やビッド・オファー・スプレッドなどの個別債券レベルの流動性分析に基づき、投資対象銘柄から除外されます。²

投資家の固有の目標や制約もこのプロセスに組み込まれます。これには、投資家が望むサステナビリティに関する任意の除外項目、指標、目標値が含まれます(以下の「サステナビリティに関する要因の組み入れ」のセクションをご参照ください)。投資対象となり得るすべての債券は、流動性に関するスクリーニングを実施したうえで、当社独自のポートフォリオ構築・分析フレームワークに投入され、指定された制約条件の下で総合ファクタースコアを最大化するモデルポートフォリオが生成されます。

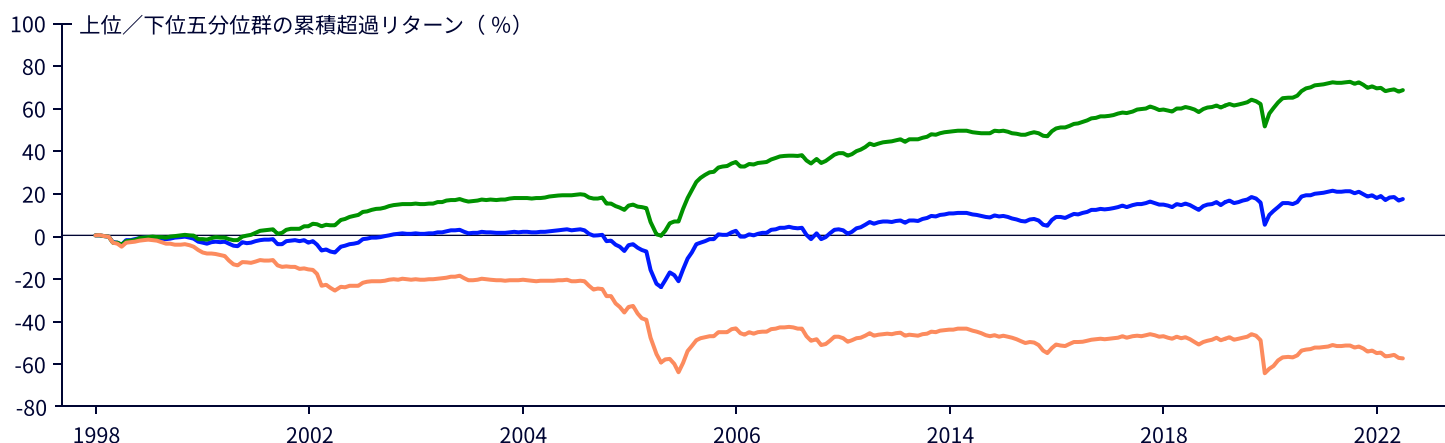
これらの制約条件により、ポートフォリオは、顧客の運用ガイドラインや参照ベンチマークのさまざまなエクスポージャーやアロケーションとの整合性が確保され、ベンチマークとの構造的な差異ではなく、ファクターに基づく銘柄選択が超過リターンを生む主な原動力となります(図表3)。

図表3: 債券のリターンを左右するアルファ・ファクター: 高スコア債券の保有、低スコア債券の回避がアウトパフォームにつながる可能性

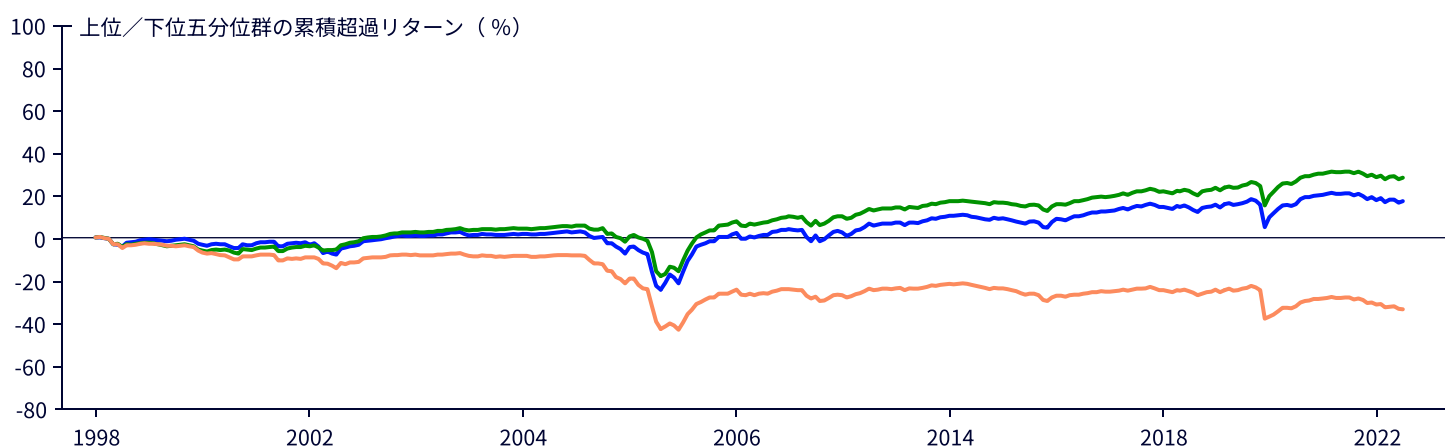
相対的なバリューシグナル: ファンダメンタルズ考慮後の債券価格の歪みを特定するように設計



株式・社債モメンタムシグナル: 株式・債券間のリターンのリード・ラグ関係を利用



センチメントシグナル: 株式投資家の積極的な空売りが優勢な発行体を回避・選別



■ 米国投資適格社債指数 ■ 高スコア(保有) ■ 低スコア(回避)

出所: Barclays QPS Research。各図表は、ブルームバーグ米国投資適格社債指数のデュレーションを一致させた米国債に対する累積超過リターンを、集中を制限するとともに同指数に近いリスク特性(デュレーション、DTS、業種、格付による配分)を持たせた2つのティルト・ポートフォリオとともに示しています。ティルト・ポートフォリオは、相対的なバリュー(ESP)、モメンタム(EMC)、センチメント(ESI)のいずれかのファクターのウェイトを増加または減少させています。ターンオーバーに制限は設けず、取引コストは無視しています。上記情報は例示のみを目的としたものです。過去の運用実績は将来の運用成績の指標として信頼できるものではありません。

3. 効率的な運用の実現

適切に構築し、最適なティルト（傾斜配分）をかけたモデルポートフォリオは、きわめて慎重かつコスト効率に優れた運用を必要とします。本戦略の期待超過リターンの獲得を確実にし、取引コストによるリターン低下を最小限に抑えるには、効率的な取引執行が不可欠です。ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは6,600億ドルを超える指数連動型債券資産3を保有していますが、当社の成功を支えているのは厳格なリスク管理と効率的な運用です。当社のポートフォリオマネジャーと専門の債券トレーダーは、取引コストの削減および取引執行の信頼性向上に向けて発展を続ける市場の最先端にいます。

近年の市場の透明性と債券の価格データの向上により、当社は取引コストを可能な限り抑制することが可能になり、システムティック債券戦略への道筋が開けました。ポートフォリオマネジャーはトレーダーと連携して、最適な価格に対して最小限の誤差で債券を売買しています。社債市場の流動性は変動性が高く、日々変動するため、ポートフォリオに最適なファクターを最小限の取引コストで維持するには債券の入れ替えが必要となります。このような入れ替えを行う際には、ポートフォリオのファクターに対する全体的なエクスポージャーを効率的に最大化するため、業種や格付、デュレーションおよびファクターに対するエクスポージャーへの影響を監視およびコントロールします。

つまり、戦略の理論上の潜在能力に忠実なパフォーマンスを継続的に実現するためには、低コストの運用と継続的なポートフォリオの調整が不可欠となり、それによってモデルから市場へ変換する際の信頼性と効率性が高まります。

4. 継続的なリバランス

当社のシステムティック戦略では、ベンチマークの主要なリスク特性との整合性を維持するため、変化を続ける市場環境とファクタースコアに対して継続的な調整が行われます。各リバランスは、過剰な回転率によるパフォーマンスの低下を防ぐため、取引は、リバランス前のポートフォリオを基準に、整合性の維持、リスクのコントロール、およびファクタースコアの最大化に必要な時のみに限定されます。

これは実際には、リバランスのための取引を、目標エクスポージャー（例：デュレーション、格付、業種）を維持しながら高水準のアルファ・シグナルのウエートを増やすために最低限必要となる取引に限定することを意味します。長期的な指針としては、目標とする売買回転率がありますが、当社のプロセスには費用対効果分析が組み込まれており、これにより、コスト対比のアルファ創出の可能性が大きければ正当な取引量は増加し、小さければ減少します。

この規律あるコスト重視アプローチにより、不要な取引コストやトラッキングエラーを抑えつつ、事前に設定されたリスクパラメータの範囲内でポートフォリオが高水準のファクタースコアを維持し、新たな投資機会に適応することが可能になります。

サステナビリティに関する要因の組み入れ

本戦略の目標: サステナビリティ上の考慮事項を組み込んだうえでアルファを追求

サステナブル投資における当社の対応力とソリューションは、顧客固有の投資戦略をサポートする当社のコミットメントに基づいています。当社は顧客と連携し、綿密に構築された戦略と商品を通じて、顧客自身の投資およびサステナビリティに対する目標達成をサポートします。サステナブル投資における当社の対応力と戦略は、投資に対する当社の深い専門知識、厳密なリサーチ、独自のツールおよび包括的なレポートに基づいており、投資家が目標を達成し、サステナブル投資を自信を持って行う上で必要となる幅広い選択肢と情報を提供します。

サステナビリティに関するガバナンスと監督

本戦略では、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズがサステナビリティに関して保有する幅広いデータ群、指標およびツールを、定量スコアリングモデルとレポートिंगのために活用します。当社は、データ品質の管理とモデルの展開を監督するため、標準化されたシステムとプロセスからなる強固なインフラ構築しました。

サステナビリティ投資リサーチとデータチームがITチームと緊密に連携し、当社のリサーチデータベースで保有している全てのサステナビリティデータの維持、更新および監督を行っています。当社の「サステナビリティデータのガバナンスと監督 (Sustainability Data Governance and Oversight)」は、新たなデータセットの精査、継続的なデータ更新管理の実施、およびデータの活用と販売に焦点を当てた資料です。

サステナビリティ目標の当社システムティック戦略への統合

当社のシステムティック戦略はオープンアーキテクチャーを採用しているため、幅広いサステナビリティ・シグナルを容易に統合することができます。また、フレームワークの柔軟性のおかげで、入力データやシグナルを必要に応じてカスタマイズすることも可能です。たとえば、サステナビリティ・シグナルの追加・削除、データソースの変更、ベンチマークとの比較で適用される目標の調整といったカスタマイズが可能です。当社はマルチソース・データアーキテクチャおよびサステナブル投資における独自の知見により、データを柔軟に利用し、サステナブル投資目標を設定している顧客に対して幅広い投資ソリューションを提供することができます。

多くの投資家が、リスクとリターン特性について戦略的なベンチマークとの近似性・整合性を保ちつつ、自社ポートフォリオのカーボンプロファイルを改善し、気候リスクを軽減する方法を模索しています。たとえば、SAFI気候変動戦略 (SAFI Climate Strategy) は気候変動および脱炭素経済への移行関連のリスクと機会を管理したいと考える投資家向けに設計されています。この戦略をとる投資家は、環境保護、人権、労働基準、汚職防止、問題兵器、タバコなどに関する国際規範を遵守していない企業も回避したいと考える可能性があります。SAFI気候変動戦略は、ベンチマーク対比で図表4に示す目標の達成を目指します。

図表4: SAFI気候フレームワークは環境関連のリスクと機会を考慮

指標	目的	ベンチマーク対比目標値
炭素強度 売上高100万ドルあたりのCO ₂ 換算排出量	企業の生産量対比の炭素排出量を計測する指標	↓ ≥ 50%*
化石燃料埋蔵量 潜在排出量 (CO ₂ 換算/100万トン)	企業の事業活動を座礁資産および関連する潜在的な減損損失のリスクに結び付ける	↓ ≥ 75%
ブラウン収益 化石燃料関連の活動からの収益の割合	化石燃料の採掘、直接的な使用に関連した活動およびその支援活動へのエクスポージャー	↓ ≥ 75%
カーボンリスク格付 気候変動対応度スコア	気候関連のリスクと機会（カーボンフットプリントを含む）および業界固有のカーボンリスクの管理を評価するボトムアップ指標	スコアが24以下の債券（クライメートラガード：気候変動対応出遅れ企業）を除外
サステナビリティリスク 1. 国連グローバル・コンパクト 2. 非人道的兵器 3. サステナビリティ上の重大な物議 4. 火力発電用石炭 5. 北極圏の石油・ガス開発 6. オイルサンド 7. タバコ産業 8. 民間用銃器	規範に基づく非難の対象となり得るリスクおよび問題視されている製品への関与のスクリーニング。サステナブルファイナンス開示規則（SFDR）基準に基づくサステナブル投資のモニタリング。	↓ 100% データが入手可能な場合、サステナビリティ上のリスクおよび問題視されている製品への関与については全て除外 サステナブル投資のウエートを最低25%とする
グリーンボンド 気候債券イニシアチブ（CBI）分類基準に基づき環境債として認証される債券	特定の環境目標を掲げるプロジェクトに対する投資のウエート引き上げ。	↑ ≥ 1.5x**

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、2024年12月31日現在。

* 本フレームワークでは、グリーンボンドと認定された債券に関連する炭素強度、ブラウン収益、および化石燃料の保有量の各指標について「ゼロ」が適用されます。

** 本戦略のグリーンボンドに対するエクスポージャーが35%に達すると、増加シグナルは縮小し、グリーンボンドのウエートが指数の35%以上となった時点でシグナルは最大値（1）に達します。上記目標は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズによる一定の仮定と分析に基づいており、これらの目標が達成されるという保証はありません。目標のモニタリングはリバランス日に実施されるため、その間、ポートフォリオが目標から乖離する可能性があります。ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは目標を変更する権利を留保します。

当社の投資戦略はすべて関連性が高く質の高いデータに依拠しており、気候変動戦略も例外ではありません。当社のオープンアーキテクチャーによって最適なデータを入手することが可能です。標準フレームワークでは、サステナブル気候変動社債戦略（Sustainable Climate Corporate Bond Strategy）向けに以下のデータプロバイダーを選定しています：

- **MSCIおよびISS ESG**：気候関連データ
- **気候債券イニシアチブ（CBI）**：グリーンボンド
- **R-Factor™**：サステナビリティ会計基準審議会（SASB）のサステナビリティリスク・マテリアリティ・フレームワークに基づくサステナビリティ評価
- **SustainalyticsおよびMSCI**：以下の除外基準に該当する製品やサステナビリティ上の懸念のある活動への関与：非人道的兵器、国連グローバル・コンパクト違反、火力発電用石炭、北極圏掘削活動、石油・オイルサンド、サステナビリティ上の重大な物議、タバコ、民間用銃器

独自の気候関連指標やカスタマイズ要件を有する投資家には、投資一任勘定を通じてカスタマイズされたソリューションを提供します。カスタマイズされたソリューションや債券および株式の詳細なケーススタディについては、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズの担当者にお問い合わせください。

モニタリングと報告

当社はポートフォリオのサステナビリティ・シグナルを継続的にモニタリングし、その結果を投資家向けの包括的な月次レポートに掲載しています。これには、顧客ポートフォリオと標準的なベンチマークのサステナビリティプロファイルの比較が可能なサステナビリティ強化レポートが含まれます。また、データおよび分析内容を顧客固有のフレームワークに整合させることにより、顧客ごとのニーズや規制当局の報告要件に合わせたカスタム仕様のサステナビリティレポートも作成可能です。これらのモニタリングとレポートは、SAFIのルールに基づくデータドリブンの手法およびリスク管理の原則と完全に整合しており、規律とリスク認識に基づくサステナビリティの統合が、債券投資プロセス全体を通じて保証されます。

SAFIの主要メリット

SAFIが投資家の皆様に提供できるメリットは以下の通りです：

- **力強いアルファ創出の可能性:** 実証済みのシグナルをシステムティックに適用することにより、比較的少ないリスク量でベンチマークを安定的かつ大幅に上回る超過リターンが発生し、高いインフォメーションレシオ (IR) の実現につながります。
- **分散効果:** 当社のシステムティック債券戦略は、ファンダメンタルズ分析に基本を置く既存のアクティブ債券戦略との相関性が低いことが実証されており、ベンチマーク指数のリスク特性を維持しつつ、魅力的な分散化メリットを提供します。
- **透明性と規律あるプロセス:** 透明性と規律あるプロセスルールに基づく手法により、幅広い投資対象に対する一貫した銘柄選択の判断を大規模に行うことが可能となります。
- **ヒューマンバイアスの低減:** システムティックアプローチはデータに基づくインサイト (洞察) に依拠することにより、客観性と透明性を維持し、投資判断において感情的なバイアスや認識上のバイアスの影響を回避します。
- **サステナビリティ・インテグレーション:** サステナビリティを組み込むことにより、投資に関する意思決定がサステナビリティ・シグナルと整合するため、サステナビリティ・シグナルを設定している投資家に魅力的となります。

当社のシステムティック債券戦略は、比較的新しい高度な投資アプローチで、定量的な厳密性を基盤としつつサステナブル投資の慣行も統合することができます。SAFIはアプローチの透明性、投資の分散効果、サステナビリティの統合を併せ持つことで、今日の債券ポートフォリオにおいてアクティブ運用や責任投資を求める投資家に対して魅力的な提案を行います。

脚注

- 1 スコアは10段階で、10が最も魅力的、1が最も魅力が薄いことを意味します。総合スコアは3つのシグナルの合計スコアです。したがって、各債券に対して3〜30の総合スコアが付与されます。
- 2 当社はパークレイズが算出する流動性指標であるトレード効率性スコア (TES) を使用しています。これは、パークレイズ流動性コストスコア (LCS) と取引ボリュームを組み合わせ、1〜10の相対的な単一のスコアにまとめたものです。TESはコストとフローの両方を反映します (「SAFI ポートフォリオの流動性」をご参照ください)。LCSは投資業界で広く用いられている流動性モデルで、債券の取引コストを債券価格に対する比率で表したものです。機関投資家規模の往復取引の直接コストを測定します。取引ボリュームが大きく、デュレーション1単位当たりのLCSが低い債券はTESが低くなります。
- 3 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、2024年12月31日現在。サステナブル資産は運用資産残高 (AUM) に含まれません。

Contributors

Nataliya Ivanova

Senior Client Portfolio Manager

David Furey

Global Head of Portfolio Strategists,
Fixed Income, Cash and Currency

statestreet.com/investment-management

留意事項

すべての情報は特に記載がない限りSSGAから提供されたものであり、信頼できる情報源から取得されていますが、その正確性は保証されません。情報の正確性、信頼性、完全性についての表明または保証はなく、これらの情報に基づく意思決定に対する責任も負いません。したがって、依拠すべきではありません。

投資には元本損失のリスクを含むリスクが伴います。

本資料の全部または一部を、SSGAの書面による明示的な同意なしに、複製、コピー、送信、または第三者に開示することはできません。

本資料に記載された見解は、2025年3月31日までのNataliya Ivanova と David Fureyの見解であり、市場やその他の状況に応じて変更される可能性があります。本資料には将来予測とみなされる記述が含まれている場合がありますが、それらは将来の成果を保証するものではなく、実際の結果や展開は大きく異なる可能性があります。

分散投資は利益を保証するものでも、損失を防ぐものでもありません。

債券は一般的に株式よりも短期的なリスクや変動性が低いとされていますが、金利リスク (金利が上昇すると債券価格は通常下落)、発行体のデフォルトリスク、信用リスク、流動性リスク、インフレリスクなどを含みます。これらの影響は、長期債でより顕著になる傾向があります。満期前に売却または償還された債券は、大きな損益が発生する可能性があります。

提供された情報は投資助言を構成するものではなく、そのように依拠すべきではありません。証券の購入の勧誘や売却の申し出とみなされるべきではありません。投資家の特定の投資目的、戦略、税務状況、または投資期間を考慮していません。税務および財務アドバイザーにご相談ください。

パークレイズに関する免責事項

パークレイズは、定量的ポートフォリオ戦略 (QPS) リサーチチームが開発した定量的シグナルを組み込んだ一部のシステムティック戦略インデックスをSSGAにライセンス供与しています。

パークレイズは、本資料に記載された商品 (以下「商品」) の発行者または製造

者ではなく、商品に関する責任、義務、義務を負いません。パークレイズのインデックス (以下「インデックス」) およびその構成要素はパークレイズの商標であり、SSGAが商品管理の目的で使用するためにライセンスされていますが、これらのインデックスは商品に対するベンチマークとして使用されているわけではありません (EU規則2016/1011に定義されるようなベンチマークではありません)。

パークレイズのインデックスに関する唯一の関係は、インデックスのライセンス供与であり、パークレイズは商品や投資家に対して責任を負いません。SSGAは、商品に関連してパークレイズと取引を行う場合がありますが、投資家はパークレイズとの関係を持つわけではありません。

パークレイズは、商品やインデックスの使用に関して助言するものではなく、インデックスやそのデータの正確性に関して責任を負いません。

パークレイズは、インデックスの公式計算および管理代理としてBloomberg Index Services Limitedを起用していますが、インデックスの計算やデータの正確性、完全性、適時性について保証はしていません。いかなる保証も明示・黙示を問わず否認されており、損害賠償責任も負いません。

その他の免責事項過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。

本資料に記載されている商標およびサービスマークは、それぞれの所有者に帰属します。第三者のデータ提供者は、データの正確性、完全性、適時性に関して保証や表明を行っておらず、データの使用に起因する損害について責任を負いません。

本資料は、戦略に関する概要情報を提供するものであり、SSGAから入手可能な「戦略開示文書」と併せてご確認ください。開示文書には、戦略に関する重要な情報やリスクの説明が含まれています。

本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが作成したものをステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が和訳したものです。内容については原文が優先されることをご了承下さい。

© 2025 State Street Corporation. All Rights Reserved.
3315052-7781184.3.2.APAC.INST Exp. Date: 3/31/2026